

FUJIFILM

ワイヤレスコマンダー

EF-W1

使用説明書

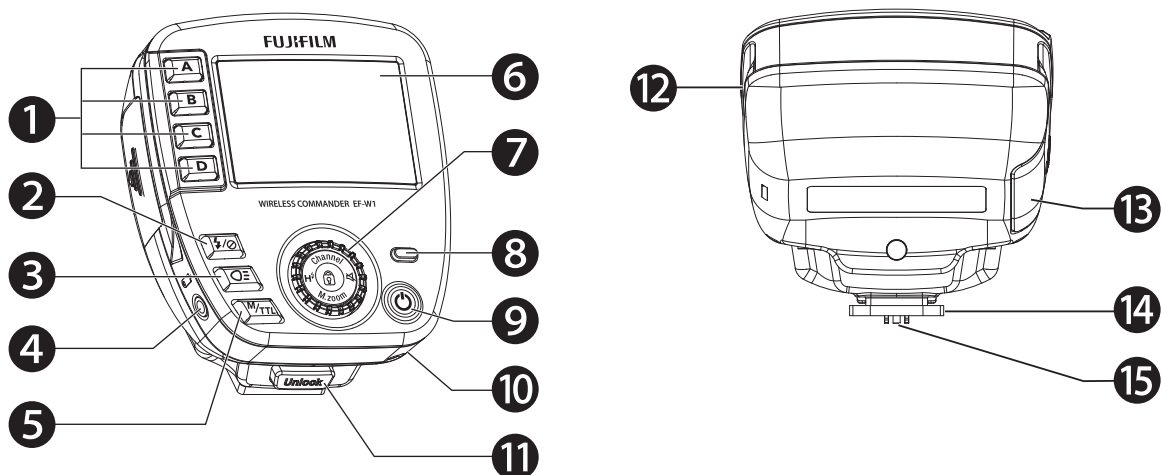


富士フィルム製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用にあたっては、この使用説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの使用説明書をご参照ください。

目次

各部名称／付属アクセサリ	4
省電力モードについて	5
お使い頂く前に	6
電池を入れてください	6
ペアリング設定	7～8
基本操作	9
カメラに装着する／カメラから取り外す	9
電源を入れる	9
グループの設定と操作	10
ストロボのグループ設定	10
コマンドのグループ設定と操作方法	11～12
オープンモード	13
モード設定	14
TTLモード	14～15
マニュアルモード	16～17
セレクトダイヤルの機能ボタン	18
チャンネル設定	18～19
照射角(ズーム)の設定	20
ビープ音のオン／オフ	21
操作ロックボタン	22
その他の機能ボタン	23
モデリング発光	23
その他の機能	24
FP(ハイスピードシンクロ)	24
リセット	24
ファームウェアアップデートについて	25
主な仕様	26

各部名称 / 付属アクセサリ



- | | |
|---------------------------|-----------------|
| ① グループボタン | ⑧ パイロットランプ |
| ② グループオン/オフボタン | ⑨ 電源オン/オフボタン |
| ③ モデリングライトボタン | ⑩ ストラップ穴 |
| ④ シャッターケーブルソケット (2.5mm) ※ | ⑪ ロック解除ボタン |
| ⑤ モードボタン | ⑫ マイクロSDカードスロット |
| ⑥ LCDパネル | ⑬ 電池蓋 |
| ⑦ セレクトダイヤル兼機能ボタン | ⑭ 取付足 |
| • チャンネルボタン | ⑮ シュー接点ピン |
| • HSSボタン | |
| • ズームボタン | |
| • ビープボタン | |
| • 操作ロックボタン | |

● 付属アクセサリ

専用ケース、リモートシャッター用ケーブル※

※ニッシンデジタル MG10/MG8などワイヤレスリモートシャッターに対応したフラッシュとあわせてご使用いただく事で、フラッシュ側のシャッターボタンでカメラのシャッターが切れるようになります。

詳しくはフラッシュの使用説明書をご覧ください。

(ニッシンジャパン株式会社: <https://www.nissin-japan.com/>)

省電力モードについて

本機は、電池の消耗を防ぐために、省電力モードを備えています。

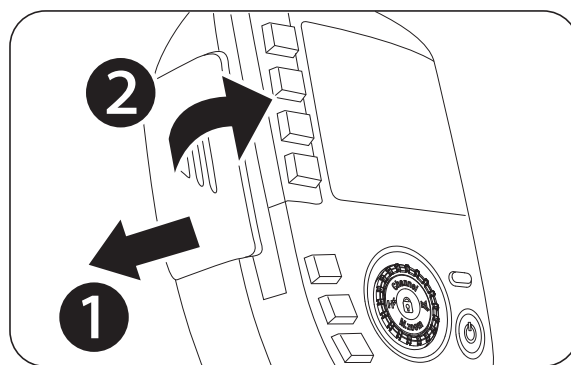
アイドル状態から30秒後にLCDが暗くなり、カメラ電源に連動して消灯します。省電力モード時はパイロットランプが2秒おきに点滅します。ボタンをどれか押すと、省電力モードから復帰しLCDが再点灯します。本機の手操作を60分間行わなかった場合は電源OFFになります。

お使い頂く前に

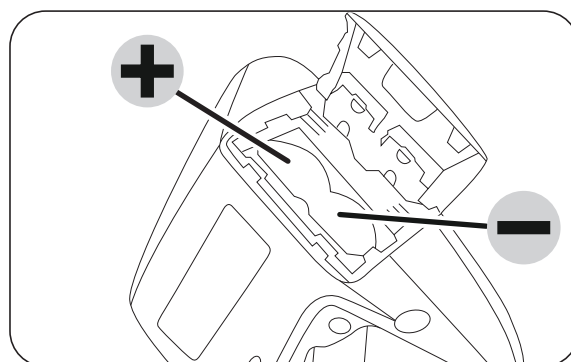
電池を入れてください

使用できる電池：ニッケル水素電池、アルカリ乾電池

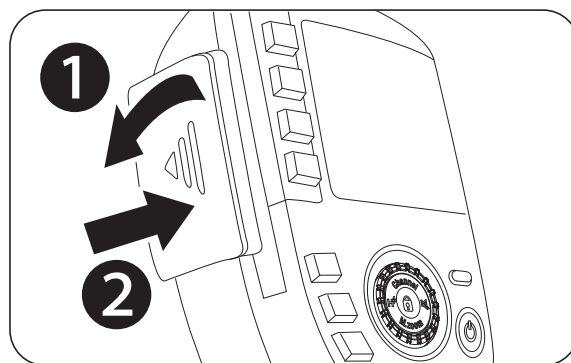
1. 電池蓋を図の①、②の順番に開きます。



2. 単4形電池2本の+-の向きを合わせて正しく挿入してください。



3. 電池蓋を①押してから②スライドさせて閉めてください。



⚠ 注意

電池は、同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。同時に交換することをお勧めします。また、充電電池の場合は、すべて同時に充電した電池を使用してください。

お使い頂く前に

ペアリング設定

ワイヤレス撮影を行う前に、以下の手順にしたがって、本機とストロボのペアリング設定を行ないます。

⚠ 注意

初めて使用する際は必ずペアリング設定を行なってください。

ステップ ① … コマンダー、ストロボの電源をOFFにする。

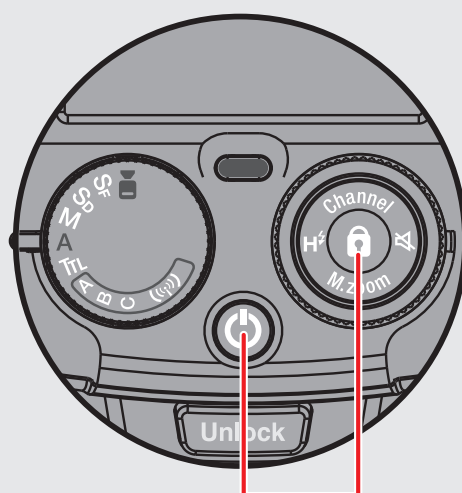
ステップ ② … 以下の手順でペアリング設定を行います。

① **ストロボ** (NASの受信機能を内蔵するもの) の設定

EF-60の設定

「機能ボタンの(🔒)」と
「電源オン/オフボタン(🔌)」
を同時に3秒間長押しして
ください。

ビープ音がなりますので、
そのまま、②の
「コマンダーEF-W1の設定」
を行います。



3秒間長押し

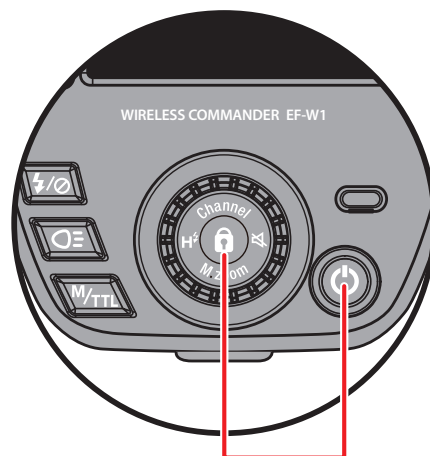


ビープ音

お使い頂く前に

② コマンダー EF-W1 の設定

1. 「機能ボタンの (🔒)」と「電源オン/オフボタン (🔌)」を同時に3秒間長押ししてください。
2. パイロットランプが5秒間点滅した後、ストロボのビープ音が止まります。
3. これでペアリングは完了です。



3秒間長押し

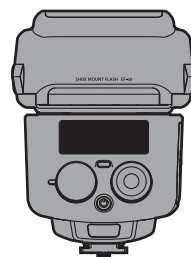


パイロットランプ
が5秒間点滅



ストロボのビープ音が止
まるとペアリングは完了。

- ペアリング作業が完了するまでストロボの操作を行わないでください。
- 複数台のストロボをお持ちの場合は、先に何台かのストロボを長押ししてビープ音を出してから、最後に1回本機を長押しすれば、一度にペアリングができます。



⚠ 注意

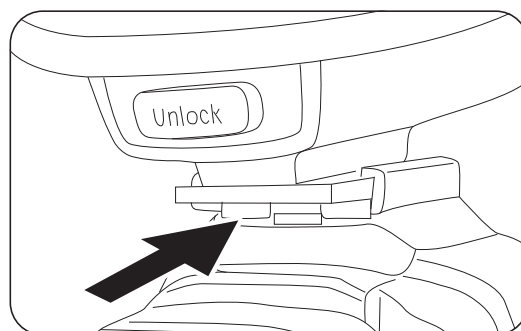
ペアリング設定は、電源をオフにしても設定が記憶されたまま残ります。

※テスト発光を行うときはコマンダーEF-W1のパイロットランプを押してください。

基本操作

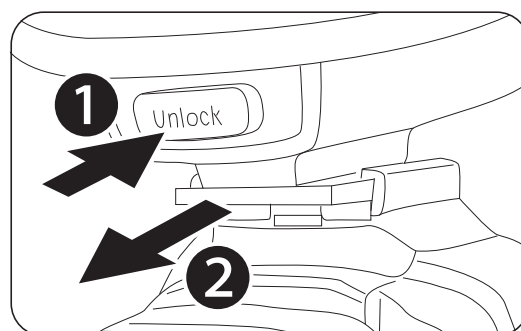
カメラに装着する

1. 本機の取付足をカメラのホットシューに挿入します。
2. ロックピンにより固定されるまで、しっかり奥まで差ししてください。



カメラから取り外す

1. [Unlock] (ロック解除ボタン) を押しながら①、ホットシューから引き抜きます②。



⚠ 注意

カメラに本機を取り付けた際、本機を掴んで持ち上げないで下さい。
取付足やカメラのホットシューが破損する恐れがあります。

電源を入れる

- 「電源オン / オフボタン」を押すと電源が入り、パイロットランプが赤色から緑色に変わると本機が使用可能になります。
- テスト発光を行う場合はパイロットランプを押してください。
- 電源を切る場合は、「電源オン / オフボタン」を押してください。



電源オン/オフボタン

グループの設定と操作

本機は A、B、C、D、 \dot{A} 、 \dot{B} 、 \dot{C} 、 \dot{D} 8つのグループがあり、グループごとでも、複数グループ同時でもコントロールできます。ただし、使用するストロボによっては利用できるグループが限られますのでご注意ください。

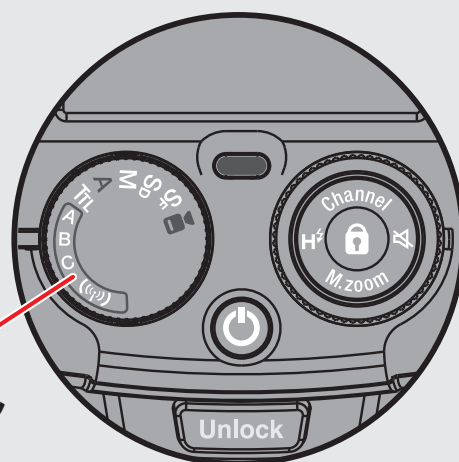
なお、1つのグループには複数台のストロボを紐付けることもできます。では最初にストロボのグループ設定を行います。

ストロボのグループ設定

EF-60の設定 (利用できるグループ：A、B、C)

モードダイヤルを回して、「ワイヤレスマーク」の A、B、C いずれかのグループを選んでください。

モードダイヤル



グループの設定と操作

コマンダーのグループ設定と操作方法

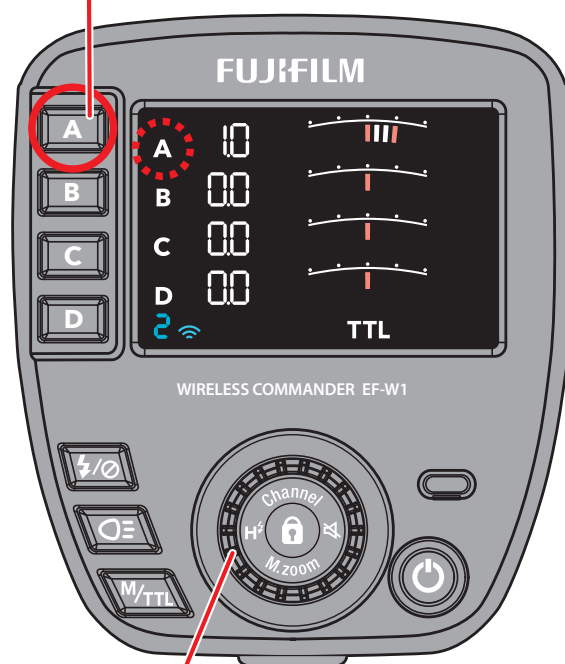
本機は8つのグループがあります。A、B、C、DとĀ、B̄、C̄、D̄は同じ画面で操作ができませんので「O≡」を長押しして画面を切り替えます。

注意

グループD、Ā、B̄、C̄、D̄は、ニッシンデジタルMG10、MG8、MG80 Proで利用できます。

1. 液晶画面の左列のグループ表示が**点灯**しているときはセレクトダイヤルで表示されている全グループの設定値が変更できます。
2. 操作したい特定のグループボタンを押すと液晶画面のそのグループ表示が**点滅**します。点滅中はセレクトダイヤルによりそのグループのみの設定値変更ができます。もう一度グループボタンを押すとそのグループ表示が**点灯**に戻ります。

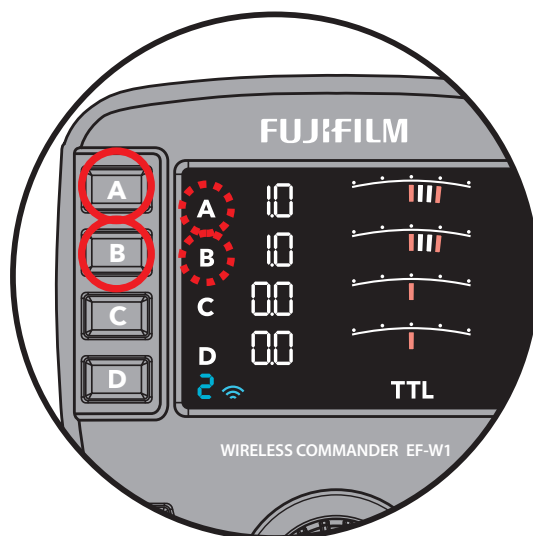
グループボタン



セレクトダイヤル

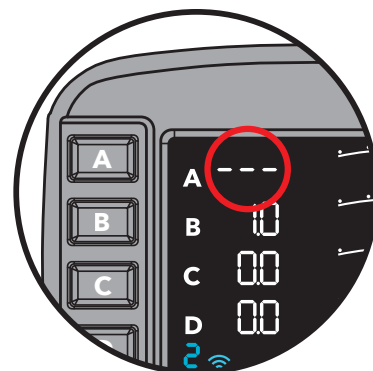
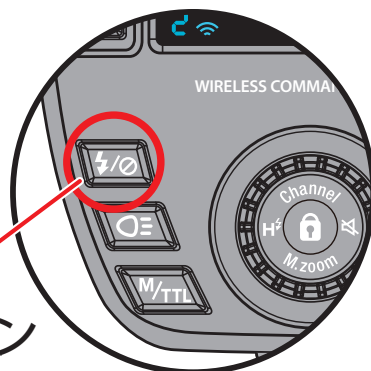
グループの設定と操作

3. グループ表示を同時に 2 箇所
点滅させれば 2 グループ、同
時に 3 箇所**点滅**させれば 3
グループ同時に変更できます。



4. 特定のグループの発光を停止
させる場合は、グループ**点滅**
中に「グループ オン/オフ ボ
タン」を押してください。発光停止中は液晶画面のグルー
プ表示が「----」と表示されます。

グループ
オン/オフボタン



グループの設定と操作

オープンモード ※ ニッシンデジタル MG シリーズに対応。

NAS システムでは 1 台のストロボに 1 台のコマンダーしかペアリングできません。しかし、オープンモードが搭載されているストロボの場合は、ペアリングなしで通信が行えるオープンモードに切り替えることにより、1 台のストロボが 2 台以上のコマンダーの信号を受信できるようになります。

オープンモードの設定方法：

- 「モードボタン (M/TTL)」を長押しするとオープンモードに切り替わります。
- 本機とストロボのチャンネルを同じチャンネルに設定してください。

⚠ 注意

ペアリングしていないニッシンデジタル MG シリーズストロボを OPEN モードで制御する場合、チャンネルは AUTO を使用できませんので、MG シリーズストロボのチャンネルを本機と同じチャンネルに合わせてください。

モード設定

本機には、自動調光の「**TTLモード**」と手動調光の「**M (マニュアル) モード**」の二つのモードがあります。モードの切り替えは「モードボタン」で行います。

TTLメモリー機能とは：

TTLモードからMモードに切り替えた時、直前のTTL発光量がMモードでの発光量に自動変換される機能です。(設定は不要です)

最初にTTLモードで大まかな光量を決めたあと、Mモードに切り替えて微調整できるので、最適な光量を素早く決定することができます。



モードボタン

TTLモード

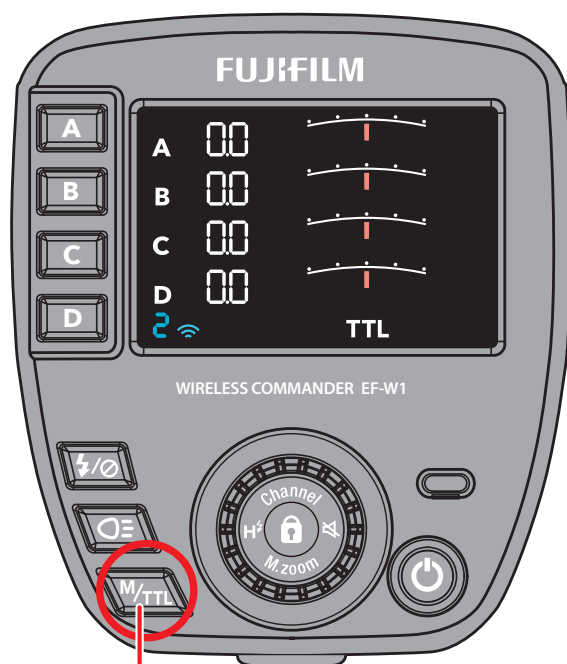
液晶画面下部に「**TTL**」と表示されます。TTLは発光量を自動調節するモードで、調光補正により微調節ができます。

調光補正範囲：-2EV ~ +2EV

モード設定

TTLモードの調光補正の仕方

1. 「モードボタン (M/TTL)」を押して TTL モード画面に切り替えます。
2. 変更するグループボタンを押して、グループ表示を点滅させます。
3. セレクトダイヤルを回すと補正值が 1/3EV[※]ステップで切り替わります。
4. 明るくしたいときはダイヤルを時計回りに、暗くしたいときは反時計回りに回してください。



モードボタン

※ 1/3EVに対応していないモデル、ファームウェアの場合は 1/2EVステップになります。

モード設定

M (マニュアル) モード

液晶画面下部に「M」(マニュアル)と表示されます。M (マニュアル) モードは発光量を手動調節するモードです。セレクトダイヤルを回すと発光量が 1/3EV ステップ刻みで変えられます。光量は 1/1 が最大で、分母が大きくなるほど光量は小さくなります。

調節範囲： 1/1 ~ 1/256

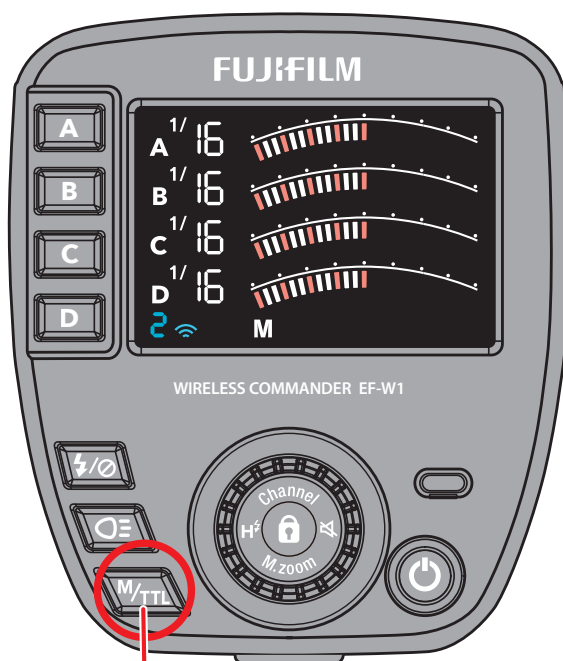
⚠ 注意

FP(ハイスピードシンクロ) モードの時は、最小発光量が自動的に 1/32 に制限されます。詳しくは後述のFP (ハイスピードシンクロ) 機能の項目をご覧ください。

モード設定

M(マニュアル)モード手動光量調節の仕方

1. 「モードボタン (M/TTL)」を押して M モード画面に切り替えます。
2. 変更するグループのボタンを押して、グループ表示を点滅させます。
3. セレクトダイヤルを回すと発光量が 1/3EV ステップで切り替わります。
4. 明るくしたいときはダイヤルを時計回りに、暗くしたいときは反時計回りに回してください。



モードボタン

セレクトダイヤルの機能ボタン



チャンネル設定

通常使用時は変更の必要がありませんが、無線 LAN、Bluetooth、ハンディフォン、ハンドフリーマイクなど 2.4GHz 帯を使用する他の通信機器が多く使われる場所では、電波干渉により NAS が正常に動作しないことがまれにあります。そのような場合は、通信チャンネルの変更を行うと改善することがあります。

セレクトダイヤルの機能ボタン

Channel

チャンネル設定

本機のチャンネル切り替え方法

1. 「チャンネルボタン (Channel)」を長押しするとチャンネル設定画面に切り替わります。
2. セレクトダイヤルを回し、チャンネルを選びます。
3. もう一度「チャンネルボタン (Channel)」を長押しするか、10 秒間無操作にすると、元の画面に戻ります。



セレクト
ダイヤル

チャンネルボタン

⚠ 注意

ご使用の前に、コマンダー EF-W1 とストロボのペアリング設定を行いますが、その際、ストロボ側のチャンネルが「AUTO」または EF-W1 と同じチャンネルになっているか、ご確認ください。

セレクトダイヤルの機能ボタン

M.zoom

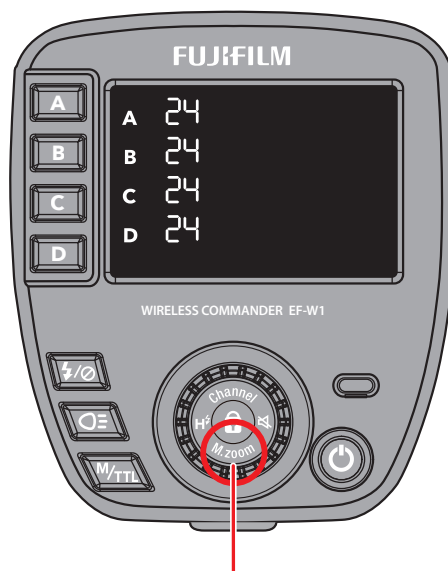
照射角（ズーム）の設定

本機は、受信側のストロボの照射角（ズーム）を遠隔操作で切り替えられます。照射角は、**A**（オート）、**24**、**28**、**35**、**50**、**70**、**85**、**105**、**135**、**200mm** にセットできます。

A（オート）にすると、レンズの焦点距離に自動連動するオートズームになります。

照射角（ズーム）の切り替え方

1. **M.zoom** ボタンを長押しします。
2. 変更するグループボタンを押して、グループ表示を**点滅**させます。
3. セレクトダイヤルを回すと照射角が切り替わります。
4. 別のグループを切り替える場合は、そのグループボタンを押して、グループ表示を**点灯**にし、上記操作（2、3、4）を繰り返してください。
5. 元の画面にすぐに戻るには、もう一度 **M.zoom** ボタンを長押ししてください。何も操作しないで放置すると約 7 秒後に自動的に元の画面に戻ります。



M.zoomボタン



【メモ】：照射角の初期値は 24mm です。リセット（パイロットランプの長押し）を行うと 24mm にセットされます。

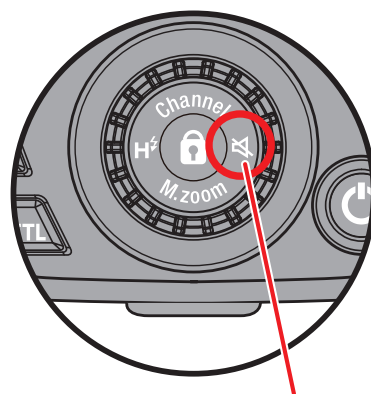
セレクトダイヤルの機能ボタン



ビープ音のオン/オフ

本機は、リモートフラッシュがチャージ中のときや、コマンドーの設定値を変更した時に、リモートフラッシュがビープ音を発する初期設定となっております。すべてのリモートフラッシュのビープ音のオン/オフ設定は、コマンドーのビープボタンにより一度にコントロールできます。

ビープ音を停止するときは、ビープボタン（）を長押ししてください。音が鳴る設定に戻すときは、もう一度ビープボタン（）を長押ししてください。



ビープボタン


※EF-60/EF-W1 の電源を入れ直しても、ビープ音の設定は保持されます。

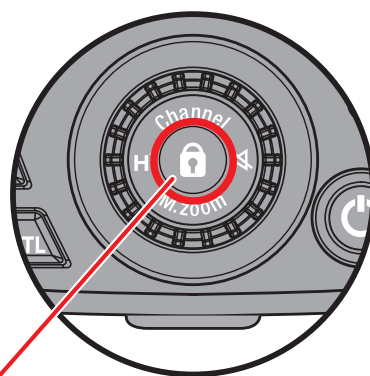
セレクトダイヤルの機能ボタン



操作ロックボタン

操作ロックの仕方

誤操作防止のための「操作ロック」モードを装備しています。操作をロックするときは、操作ロックボタン（）を長押ししてください。解除するときは操作ロックボタンをもう一度長押ししてください。






操作ロックボタン

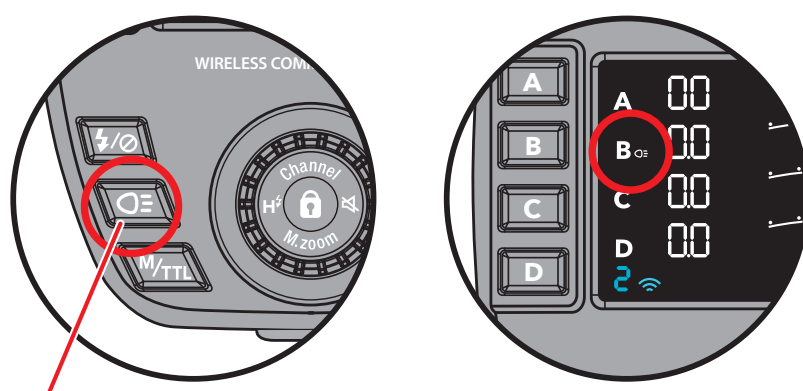
その他の機能ボタン

モデリング発光 ※ ニッシンデジタル製 MG シリーズに対応。

ストロボの光の方向性や、モディファイヤーを装着したときの光の拡散具合をシミュレーションするために、本機ではモデリングライトの発光機能を制御できます。

モデリング発光の仕方

1. モデリング発光するグループボタンを押して、グループ表示を**点滅**させます。
2. 「モデリングライトボタン ()」を押すとそのグループのストロボがモデリング発光し、液晶画面のグループ表示の右隣にモデリングマーク () が表示されます。
3. モデリング発光を停止する場合は、もう一度「モデリングライトボタン ()」を押してください。



モデリングライトボタン

その他の機能

FP(ハイスピードシンクロ)

本機は、1/8,000 秒のシャッタースピードまで同調するFP (ハイスピードシンクロ) 機能に対応しています。本機能は、TTLモードでも M モードでも使用できます。

FP(ハイスピードシンクロ)を有効にする方法

本機をカメラに取り付け、カメラと本機の電源を入れた状態で、カメラの「フラッシュ機能設定」メニューで同期モードを「AUTO FP (HSS)」に設定してください。
本機の機能ボタン「**H^z**」では設定できません。

ⓘ 注意

仕様上、最小発光量は1/32までです。液晶画面上で1/32未満に合わせても、シャッターを切ると発光量は自動的に1/32に変更されます。

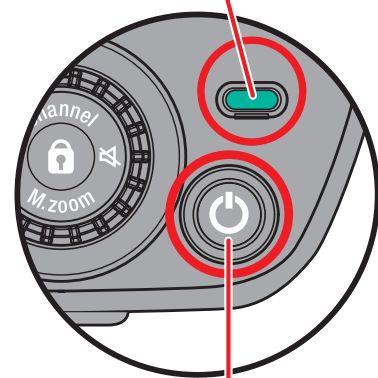
リセット

リセットを行う場合はパイロットランプを5秒間長押ししてください。

また、ファームウェアバージョンを表示してからリセットを行う場合は、電源オン/オフボタンを5秒間長押ししてください。

なお、ハイスピードシンクロ設定はリセットされません。

パイロットランプ



電源オン/オフボタン

ファームウェアアップデートについて

弊社サイトからダウンロードしたファイルをマイクロ SD カードに書き込み、製品のカードスロットに差し込んでアップデートできます。

詳しくは弊社ホームページの EF-W1 製品情報ページをご確認ください。

主な仕様

形式	
形式	ワイヤレスコマンダー
型番	EF-W1
対応カメラ *1	GFX100, GFX 50S, GFX 50R, X-H1, X-Pro2, X-Pro3, X-T1, X-T2, X-T3, X-T4, X-T20, X-T30, X-E3, X100F, X100V, その他ホットシューを搭載したXシリーズカメラ、FinePixHS20EXR, HS30EXR, HS50EXR でも一部機能がご利用いただけます。
無線通信部	
通信方式	NAS *2
使用周波数範囲 (中心周波数)	2409 ~ 2476 MHz
無線最大出力	8 dBm (EIRP)
通信チャンネル	8 チャンネル
リモートグループ	A、B、C、D、Ā、Ā、Ā、Ā
最大同時使用フラッシュ数	30
機能	
動作モード	無線ワイヤレスコマンダー (TTL、マニュアル、OFF)
TTL 発光調光補正コントロール	±2EV、1/3EV ステップ
マニュアル発光コントロール	1/1 ~ 1/256 発光、1/3EV ステップ
FP (ハイスピードシンクロ) 発光コントロール	対応 (対応カメラご使用時)
照射角コントロール	24-200 mm (35mm フォーマット換算)、オートズーム
発光間隔	最高約 10 回/秒
その他機能	microSD カードによるファームウェアアップデート、1 台のストロポを複数ワイヤレスコマンダーからコントロール可能にするオープンモード *3、モデリング発光コントロール *3
電源部・その他	
発光回数	約 3,000 回 (アルカリ乾電池) *4
電源	単 4 電池 2 本 (ニッケル水素電池、アルカリ電池)
使用温度範囲	摂氏 -10 度 ~ 40 度
寸法	約 高さ 61 mm × 幅 62 mm × 奥行 68 mm
重量	約 73 g (電池別)

*1. 最新の対応情報は <https://fujifilm-x.com/support/compatibility/accessories/> をご覧ください。

*2. NAS (Nissin Air System) はニッシンジャパン株式会社の登録商標です。(https://nissin-japan.com/)

*3. ニッシンジャパン株式会社製の MG10、MG8、MG80 Pro が対応しています。(https://nissin-japan.com/)

*4. 撮影条件や使用する電池により異なります。
仕様は予告なく変更される場合があります。

Ver. 20071101